

主任： 氏名

室名:ヒト高次機能解析室

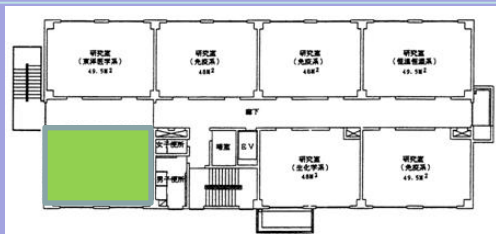
(生理学ユニット:内線238)

場所:

5号館2階

内線: 265

施設利用手引き



共同利用機器備品リスト:

1. 電気刺激装置(日本光電、SEN-3301)、1台
2. 生体増幅器(San-ei, 6R12)、1台
3. データレコーダー(TEAC XR-9000)、1台
4. ペンレコーダー(San-ei, Omni light 8M36)、1台
5. 生体信号解析装置(Toshiba, Kissei Comtec)、1台
6. オシロスコープ(日本光電、VC-11)、1台
7. 音刺激装置(日本光電、SSS-3200)、1台
8. 光刺激装置(日本光電、SLS-3500)、1台

機器用途

1. アイソレーターが付いているので生体への電気刺激に利用することができる。
2. 複合筋活動電位、脳活動電位などの生体微小信号を増幅することができる。
3. 導出された生体信号の記録(磁気テープによる記録)とoff line分析に使用することができる。
4. 導出された生体信号の直接記録(感熱紙による記録)。
5. 脳波や筋電図などの生体信号を記録・解析することができる。
6. 生体信号の増幅とディスプレイすることができる。
7. 音の周波数や音圧を選択的に出力することができる。
8. 光の周波数を選択的に出力することができる。



高次機能解析室の利用について

2011.06.15.

主任 中山登穂(内線238)

1. この部屋は、主にヒトの脳波や筋電図などの生体微小信号の実験を行う実験室です。
2. 実験の目的に応じて共同利用機器備品リストから実験装置を組み合わせることができますが、現状を変更するとき必ず主任と相談の上、行ってください。
3. 実験に使う消耗品は、各自で用意してください。ただし、アルコール、綿花、電極ベスト、脳波用血電極、プリンター用インク、キムタオル、キムワイブについては共同利用施設の経費で支出しますので、無駄使いをしないように心がけましょう。
4. 実験終了後、使用される機器や試験室内の環境について必ず元の状態に戻してください。
5. 9月末から翌年の1月中旬まで、この実験室は鍼灸学部と保健医療学部の生理学実習の場でもありますので、使用上不適合になる場合がありますので注意してください。
6. 利用を希望される方は、予定表に名前を記入してください。